



● 草の根協力支援型

2016年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ケニア
2. 事業名	ケニア国における廃棄物管理分野に関する人材育成及び改善プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	対象地域は、廃棄物管理のための資金が不十分であることや廃棄物管理能力が十分でないため、収集車両の故障など作業の質に影響が出ており、作業員、車両ともに作業時間が長くなって、結果として未収集の地域が残る状態にある。そのため、公衆衛生上のリスクを抱えている状態にある。さらに、収集場所から処分場まで、平均で30km、最大60kmと大変離れているために、特に雨季にはアクセスできないこともあり、廃棄物の収集運搬の改善は非常に困難な状況にある。このまま、放置した場合は、キアンブ県の都市部の公衆衛生状態はますます悪化すると見込まれる。このような状況を改善するため、キアンブ県は衛生埋立場（アフリカ初の「福岡方式」の採用）を建設し、2015年に完成して埋立が開始されているが、同県の実務担当者の廃棄物管理能力が十分でなく、衛生埋立場の適切な管理が、困難な状況にある。キアンブ県の実務担当者の人材能力向上が喫緊の課題となっている。
4. プロジェクト目標	人材能力向上されたカウンターパートの担当実務者により衛生埋立場が適切に運営され、収集運搬業務が改善され始めている。
5. 対象地域	キアンブ県
6. 本事業の対象となる人々	キアンブ県水環境天然資源部環境部長以下約50名
7. 事業活動と期待される変化	<p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 収集運搬の効率化 2. 埋立作業及びモニタリングの改善 3. 廃棄物管理分野の専門家を目指す人材の育成 <p><期待される変化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・キアンブ県の廃棄物管理担当者の能力向上が達成される ・福岡方式を導入した埋立場の管理が適切に運営される ・ごみの収集運搬業務が改善され始める
8. 実施期間	2018年9月～2019年12月（1年3カ月）
9. 事業費概算額	9,878千円
10. 事業の実施体制	<p>日本側（NPO法人事務局）</p> <p>事業監理：技術指導総括 松藤康司 事業管理：連絡調整担当・吉田伸隆</p> <p>技術指導事業担当：井上 求、吉村之仁、福重孝之</p> <p>ケニア側（キアンブ県水環境エネルギー天然資源部環境部）</p> <p>County Government of Kiambu（キアンブ県政府）：Mr John K. Muhia, Chief Officer Counterpart（現地担当者）：Mr Patrick Theuri, Director</p> <p>日本側事業管理担当者とキアンブ県担当者間で連絡調整を密に行い、円滑に事業を実施する。</p>
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	NPO法人廃棄物管理アドバイザーネットワーク福岡
2. 活動内容	国内外で廃棄物管理に係る技術協力事業として、環境保全を図る活動、国際協力の活動、科学技術の振興を図る活動等を行う。